

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「化膿性脊椎炎における経皮的病巣搔爬ドレナージの有効性と限界」の研究について

この研究では、久留米大学病院での手術記録、術後経過を使用します。

- 1) 期間：1997年2月から2014年3月まで
- 2) 受診科：整形外科
- 3) 対象疾患名：化膿性脊椎炎
- 4) 使用する試料：特になし

あなたの手術記録、術後経過を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

**研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。**

**ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。**

- 1) 研究組織：所属：久留米大学整形外科  
研究代表者：助教 松原庸勝  
研究分担者：講師 山田圭  
准教授 佐藤 公昭  
教授 志波直人

2) 研究の意義と目的：化膿性脊椎炎における経皮的病巣搔爬ドレナージの有用性や限界を明らかにすることによって今後の臨床治療へ貢献することを目的とする。また経皮的病巣搔爬ドレナージ後の再発危険因子を明らかにすることを目的とする。

3) 研究の方法：久留米大学病院にてカルテ・画像データをもとにレトロスペクティブに治療成績を評価する。研究は過去にとられたデータの解析である。

4) 研究期間：2015年4月1日倫理委員会承認後～2018年3月31日

5) 上記の試料の使用を選定した理由：なし

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

この研究を実施するにあたって患者さんから提供された診療情報から住所、名前等が削られ、代わりに新しい符号をつける匿名化を行います。患者さんとこの符号とを結びつける対応表は、研究責任者が厳重に管理します。これを連結可能匿名化といいます。こうすることによ

って、診療情報の解析を行なう研究者には、誰の情報を解析しているのか分かりません。この研究で収集した情報は研究終了後5年間保存し、その後に廃棄します。

7) 研究成果の発表の方法：

研究の結果はこの研究に関連する学会で報告し、関連する分野の学術雑誌に論文として公表する予定です。また、データベース上で公表することもあります。いずれの場合も公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、患者さんの個人の情報は一切公表しません。

8) その他：なし

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

代表者氏名 松原庸勝  
住所 福岡県久留米市旭町 67  
電話番号 0942-35-3311

研究番号 / 5009